



南幌町議会  
側瀬 敏彦  
議長

### 新年を迎えて

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
町民の皆様には希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。  
日頃より町政と議会に深いご理解とご協力を賜り、心から厚く感謝と御礼を申し上げます。  
昨年は自然災害や大きな事故もなく、農作物は順調な生育を保ち品質も良く多収穫であったことは、基幹産業が農業である本町にとっては喜びにたえないところです。一方、日本各地では自然災害が多く発生しており、長年災害のない本町でも防災への意識を日常的に高めていかななくてはならないと感じています。  
町内では競技ダンスの世界大会で優勝した山岸さんをはじめ各分野で活躍された数多くの町民の方がおり、農業青年組織「農猿」が2回目の「野祭」を開催するなど町の知名度アップに大いに貢献されたことに敬意と感謝を表します。  
昨年、地方自治法施行70年の節目の年を迎え、国の「地方創生」に沿って、各自治体では地方版総合戦略事業が展開されており、取り組み如何では少子高齢化などの分野で各自治体に格差が生じることが予想され、町の将来を見据えた施策を盛り込むことが必要と考えます。加えて、住民サービスの多様化や行政経費の増加など財政面は一層厳しさを増す中、国の税制改正や交付税等の削減など地方を取り巻く状況の悪化が懸念されます。  
これらのことから、議会の役割は予算案などの議決だけではなく、行政へのけん制や監視、政策の提言とともに議員自ら条例案を立案するなど、町民の声をより行政に反映させなければなりません。常に改革意識を持ち、諸処の課題を正しく審議し開かれた議会を目指して議員一同、執行機関と切磋琢磨しながら、まちづくりの主役は町民であることを「第一」に、住んでよかったと思える町、若い世代に未来を託せる「まちづくり」に向けて努力していきます。  
結びに、新しい年が町民一人一人にとりまして、一年を通してご健勝で実り多い素晴らしい飛躍の年になりますよう、ご祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。

## 年頭のあいさつ



南幌町長  
三好 富士夫

### 新しい年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。  
町民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。  
また、町政各般にわたり町民の皆様の格別のご支援ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。  
昨年は、全国的に台風や大雨による被害が発生し、北九州北部では河川の氾濫、土砂崩れなどにより甚大な被害が発生いたしました。被災されました皆様に対し、改めて衷心より哀悼の意を表するとともにお見舞い申し上げます。  
幸いにして、本町は大雨警報等が数回発令されましたが、大きな被害もなく農作物も順調な作柄となったところです。町民の皆様には地元で収穫した安全安心な農産物をぜひ食べて頂きたいと考えております。  
本町では、全国様々な地域で発生している急激な天候の変化による災害、地震などに対応するため、治水対策はもとより、災害時に早急な対応ができるよう防災対策をさらに強化してまいります。  
また、本町の子どもたちが各種スポーツや芸術文化において全道大会や全国大会、さらには国際大会で活躍されたことも大変嬉しく思っております。今後も、我が町の子どもたちが各方面で活躍できる環境づくりを進めていかなければと強く感じているところです。  
今年の春には、南幌ニュータウンみどり野において北海道、北海道住宅供給公社、また、住宅事業者とのプロジェクトとして住宅展示場「みどり野きた住まいるヴィレッジ」の公開が予定されております。新たな事業展開として地域の活性化に繋がることを期待しているところです。  
今後も経済状況や人口減少、少子高齢化の社会環境などの変化に対応していけるよう、効率的かつ計画的な財政運営に努め、誰もが笑顔で活躍できるまちづくりを目指し、第6期総合計画に掲げた施策を中心に町政を推進すべく全力を挙げ取り組んでまいりたいと決意を新たにしております。  
どうか、町民の皆様におかれましては、町政発展のため、より一層のご支援ご協力をお寄せいただきたいと存じます。  
最後になりましたが、ご家族ともども、ご健康で幸多い年であることを心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。